

>>> - 研究会／国際会議タイトル  
第8回原子核の構造とダイナミクスにおける  
クラスターの様相に関する国際会議  
The 8th International Conference on  
Clustering Aspects of Nuclear Structure and Dynamics

>>> - 責任者氏名、所属  
池田清美（理研）  
堀内昶（京大理）  
谷畑勇夫（理研）

>>> - 日程  
2003年11月24日 - 29日

>>> - 開催場所  
奈良県立新公会堂（奈良市）

>>> - 講演者数  
招待講演・口頭発表、計81件、ポスター発表、約90件

>>> - 参加者数（国内／国外）  
外国人71名を含む、計191名

>>> - 内容  
クラスター国際会議は、原子核におけるクラスター現象に関する研究の中心となる国際会議であり、およそ5年に1度開催されておき、今年が第8回にあたる。原子核のクラスター現象は、今日理解する上で、殻模型、集団運動など2つの原核が引き起こす。最近の理解は、広い意味でのクラスター現象の捉え方に存在しない原子核の作り出すことにより著しい発展を遂げている。それらの展開の中で、新しい理論や計算法が数多く提案されている。このよう最近の動向から、クラスター物理及び不安定核物理を中心に、関連する幅広いテーマが取り上げられた。

>>> - 研究会／国際会議で行われた議論／成果  
会議では、軽い核に現れる典型的なクラスター現象を中心として、不安定原子核でのクラスター現象、核反応・分子共鳴現象、天体核反応、高い密度でのクラスター現象について、研究者による高い発表レベルの研究結果が発表されるのと同時に、若い世代の国内研究者の発表も多く、この分野における日本のアクティビティと成果は高い評価を得たと考えている。本会議は、クラスター物理の今後の発展に重要な役割を果たすとともに、今後もわが国の研究者が国際的にこの分野の研究をリードする上で、有意義なものであった。